



清水小学校

しみずしょうがっこう

清水小学校の変遷

わたしたちの町 しみず



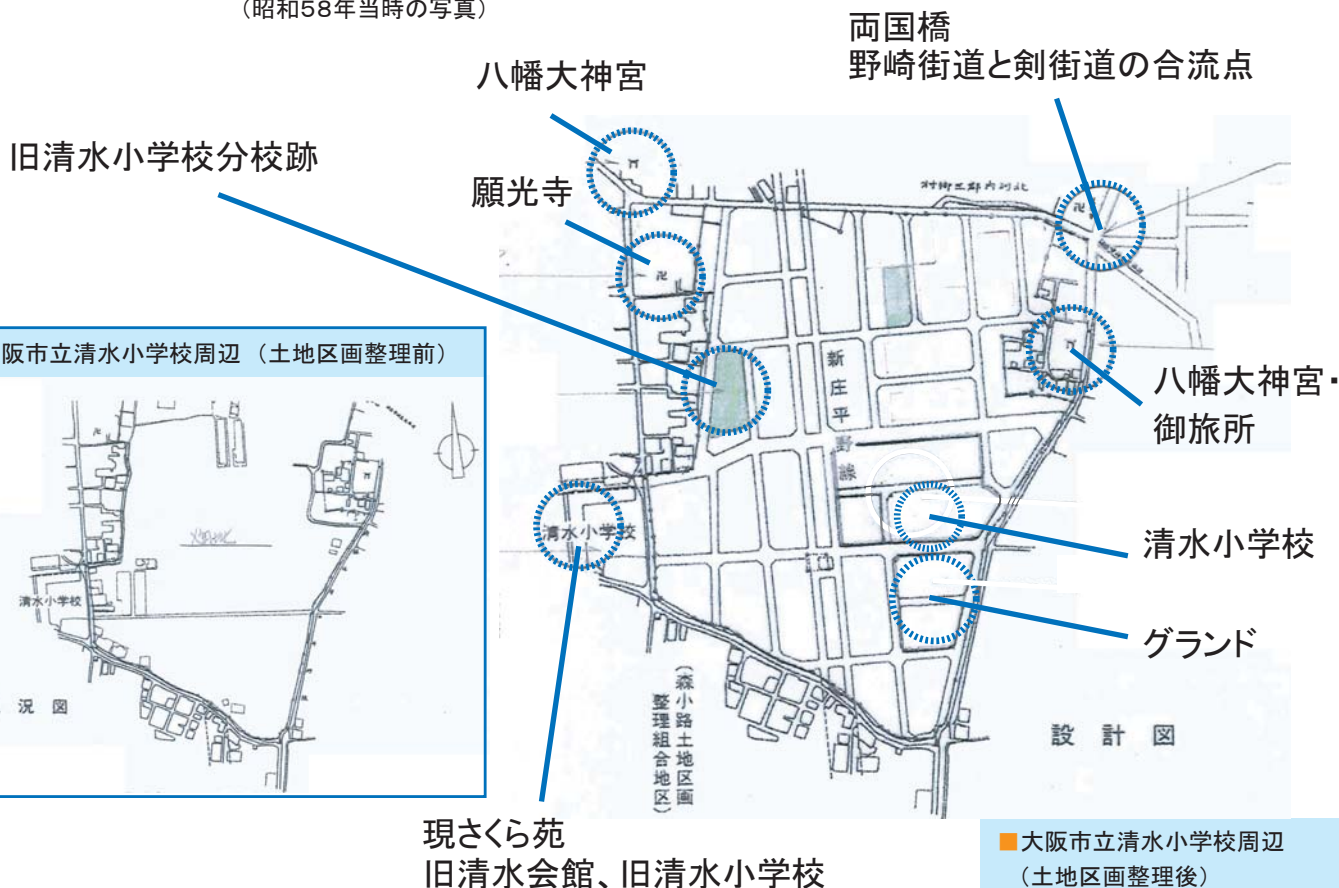
大阪市立清水小学校
(昭和58年当時の写真)

この本は、清水小学校創立六十周年に当たって、学校や町の様子を少しでも多く知って頂き、また、社会科の学習に役立てて頂きたいと願い編集したものです。

清水小学校は、その母胎となった千林尋常高等小学校から数えると百周年という長い歴史に支えられてきました。学校も移転を重ねる間、貴重な資料・記録が少なくなり、編集するに当たって、地域の方々より写真などの資料を提供して頂きました。あつく御礼申し上げます。まだまだ不十分な所もあり、おぎなっていかなければと考えています。提供頂ける資料などを集積し、次回の編集には、よりよい本にしていきたいと願っています。

終わりにになりましたが、この本を書くにあたり、いろいろとご協力くださった方々にたいして、心よりお礼を申し上げます。

■発行 大阪市清水小学校(昭和58年3月)
編集 大阪市立清水小学校 社会科研究部



明治6年に、本校のもとになる学校が作られました。そのころ千林村と呼ばれたところにありました。今の千林商店街の三和銀行の向かい側辺りにあったようです。40数年間、学校として親しまれました。初めの頃は、小学校は4年間だけで、卒業したあと、二年間の高等科へ行く人もいました。皆さんのおじいさんやおばあさんの中には、この学校で勉強された方がおられるかもしれませんね。

昭和に入って、新森地区に家が多くなり児童数も増えました。教室が足りなくなり、昭和13年に、清水中公園の所に「仮校舎」が作られ、24年まで使われました。

戦争後の混乱から、社会がようやく立ち直り始めた頃、清水小学校は現在の場所に移りました。
(1951年・昭和26)

大正十一年、清水小学校が創立されました。しばらくの間、千林の小学校の校舎を使っていましたが、十二月十日に、今の清水会館の所に新しい校舎が建てられ、清水村の小学校となりました。大正十四年に、大阪市の東成区となり、大阪市立清水小学校となりました。三十数年間、清水会館の所が学校として親しまれてきました。

戦争も終わり、学校もはじまりましたが、増え続けた児童数に教室が足りなくなり二十四年になると、清水南小学校が分かれて、新森小路小学校がうまれました。やがて、二十六年になると、広い校地を求めて、現在の所へ移転が始まりました。しばらくの間は、清水会館と両方使われていましたが、本校がこちらへ移り、清水会館の所は、廃止されました。

この書冊は、清水小学校を中心として調査、研究され、47ページにわたって記載された地域史です。

清水小学校南側に 水路があった



■旧清水小学校 卒業記念帖

■旧清水小学校(現、旭さくら苑)(写真:旧清水小学校卒業記念帖より)

